

庁舎に関する庁内検討会議での主な意見

1. 現庁舎の課題・問題点

課題項目	課題内容
耐震性の欠如	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震診断により耐震補強が必要 ・市民の安全性の確保要 ・一時的に移設した危機管理室を本庁に戻し、危機管理機能のさらなる向上が必要
狭隘化	<ul style="list-style-type: none"> ・サービスの種類や量は増大する一方、窓口や執務スペースは不足 ・子育て世代転入時の動線が悪い
分散化	<ul style="list-style-type: none"> ・窓口や機能の分散により市民サービスに影響 ・保健医療Cや教育委員会が離散しており不便 ・ワンストップ化が図れない
老朽化	<ul style="list-style-type: none"> ・電気や排水等の設備が老朽化し、維持管理費が増大
情報化等	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の管理やプライバシーの確保ができない
バリアフリー非対応	<ul style="list-style-type: none"> ・EVが西別館のみ ・通路が狭い ・障害者用トイレが少ない ・弱者の立場にたった動線にすべき

2. 課題を解決するために

「既存建物の長寿命化(耐震補強工事)」により、「耐震性の欠如」は解決できるが、その他の課題については、解決は困難である。

市民サービス向上のために付加価値を高め、庁舎機能のアップを図るためには、「既存建物の長寿命化(耐震補強等)」では課題解決は困難。

「現地建替え」及び「移転建替え」とし、庁舎に様々な付加価値をつける。

3. 集約化と複合化

- ◆ 集約化:分散化は身近に庁舎があるというメリットはあるが、効率や管理費用等の課題がある。また、ワンストップ化が図れるという市民利便性から、庁舎機能は集中させる方がよい。
- ◆ 複合化:防災拠点はもちろんのこと、まちの活性化に寄与できるような庁舎のあり方について、今後検討が必要。

※大東市庁舎に関する庁内検討会議構成員

・危機管理室長 ・戦略室長 ・企画経営課長 ・総務課長 ・自治推進室長 ・福祉政策課長 ・介護保険課長
 ・都市政策課長 ・教育政策室課長 ・生涯学習課長